

令和 4年度予算見積調書

課室名：河川環境課
 担当名：河川環境担当
 内線：5112

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B121	川の国埼玉活力創出事業費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川の国埼玉活力創出事業費		
事業期間	令和元年度～	根拠法令	なし				針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール 8, 17
							分野施策	1002	恵み豊かな川との共生	SDGsターゲット 8-9, 17-17
1 事業概要				5 事業説明						
地域ブランド調査都道府県ランキングで埼玉県は魅力度45位(2021年)となっている。 そこで埼玉県の魅力の一つである「川」を埼玉ブランドに押し上げ、埼玉の魅力として県内外に浸透させることにより、水辺空間の多彩な活用を促進する。 (1) 川の国埼玉活力創出事業費 2,750千円				(1) 事業内容 ア 川の国埼玉活力創出事業 2,750千円 (7) 水辺へ人を集め「川の国埼玉」の認知度と価値を高める取組 550千円 水辺への集客と「川の国埼玉」の価値を高めるため、様々なコンテンツにより効果的な魅力発信を行う。 (4) 地域や企業の活動を促進し、多彩な水辺空間を創出する取組 2,200千円 地域住民との連携や民間企業のノウハウを活用し、多彩な水辺空間を創出する。 (2) 事業計画 ア 水辺に人を集め「川の国埼玉」の認知度と価値を高める取組 (7) 川の国埼玉インフラツーリズムの推進 主に首都圏在住の方をターゲットに、川遊びスポット、川の絶景ポイント、ダム・砂防堰堤等を巡るインフラツーリズムの情報を、埼玉バーチャル観光大使(VTuber)や地域情報誌記者のノウハウを生かし、効果的に発信する。 (4) 「新しい生活様式」による水辺の利活用を促進(マンパワー事業) 「新しい生活様式」に対応した水辺のイベント、環境学習、美化活動等の支援・SNSによる情報発信を市町村やSAITAMAリバーサポーターズと連携して行い、水辺のニューノーマルを提案、利活用を促進する。 イ 地域や企業の活動を促進し、多彩な水辺空間を創出する取組 (7) 産・官・学連携によるソーシャルデザイン 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム、大学、SAITAMAリバーサポーター等の多様な主体と連携し、魅力ある水辺空間を生かしたソーシャルデザインを推進する。 ミズベリング会議を開催し、水辺を活用した事業を企画、Next川の再生「水辺deベンチャーチャレンジ」の導入に向けて市町村が行う社会実験、トライアルサウンディングを支援する。 (4) 水辺空間とことん活用プロジェクトによる賑わい創出(マンパワー事業) 都市・地域再生等利用区域の制度を活用して水辺空間に企業による新たな賑わいを創出する。 (3) 事業効果 ・埼玉県が持つ魅力の一つである「川の国埼玉」を埼玉ブランドとすることにより、埼玉の魅力を向上させることができる。また、埼玉版SDGsの取組の一つであるNext川の再生と連携し、民間投資を県内に呼び込むことで、民間企業のノウハウを活用した魅力ある水辺空間が創出できる。						
2 事業主体及び負担区分 (県 10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費： 9,500千円×2人=19,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし										
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比	
決定額	2,750	100						2,650	△427	
前年額	3,177	100						3,077		